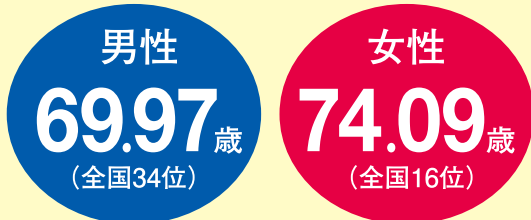


# ここが心配！ 福島県民の健康

## 健康寿命と死因

福島県の健康寿命

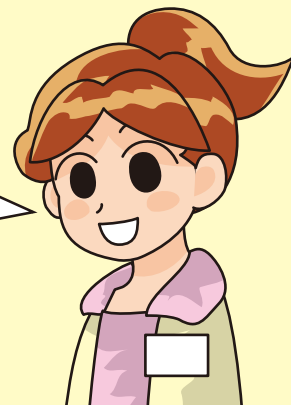


1位は愛知県 71.74歳

1位は静岡県 75.32歳

出典：厚生労働科学研究補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」（平成22年）

健康寿命とは、日常的に介護を必要としないで、自立した生活ができる生存期間のことです。最期まで健康でいきいきと生きるために健康寿命を延ばしましょう。



これらの病気は、普段の食生活や運動などの生活習慣が大きく関わる「生活習慣病」と呼ばれています。日本の死亡原因の約6割を生活習慣病が占めているといわれています。

## 福島県の3大死因

- 1位 がん(悪性新生物)
- 2位 心疾患
- 3位 脳血管疾患

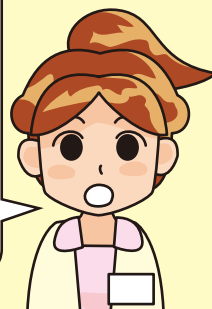
出典：「平成26年人口動態統計(確定数)の概況(福島県)」

## 福島県の死亡率全国順位(死亡率:人口10万対)

	平成22年	平成26年
急性心筋梗塞	1位 (67.9)	1位 (77.7)
脳梗塞	7位 (89.9)	7位 (83.1)

出典：厚生労働省「人口動態統計資料」(平成22年、平成26年) 都道府県別にみた死因簡単分類別死亡率(人口10万対)参照

福島県は、もともと「急性心筋梗塞」、「脳梗塞」の2つの病気で亡くなる方の割合が、全国トップクラスでした。その順位は現在も変わっていませんが、急性心筋梗塞で亡くなる方の割合は、増えています。



## 喫煙者の割合

シヨボン…



### 習慣的な喫煙者の割合

- 1位 福島県 39.2%
- 2位 青森県 39.1%
- 3位 北海道 39.0%
- …
- 47位 神奈川県 24.5%

出典：厚生労働省「国民健康・栄養調査」(平成24年)

喫煙は万病の元になるので禁煙をおすすめします。

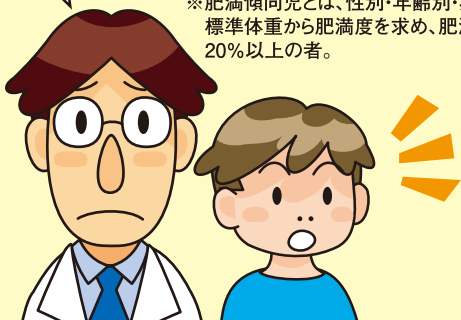


## 肥満

福島県では、子どもの肥満傾向も問題なんです。

震災後、5歳～11歳の肥満傾向児出現率は、すべての年齢でワースト3位以内になってしまいました。その傾向は、平成26年度もあまり変わっていません。

※肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者。



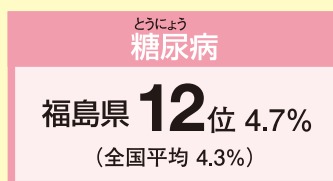
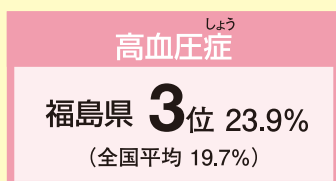
## 福島県の肥満傾向児の出現率

	平成22年度(震災前)	平成24年度	平成26年度
5歳(幼稚園)	4.6 3位	4.9 1位	5.8 2位
6(小1)	5.0 18位	9.7 1位	7.9 1位
7(小2)	6.9 13位	9.9 1位	9.6 1位
8(小3)	8.4 15位	13.5 1位	10.7 3位
9(小4)	11.2 8位	14.0 1位	15.1 1位
10(小5)	11.1 11位	14.0 2位	12.2 7位
11(小6)	13.8 2位	14.5 2位	14.4 1位

出典：文部科学省「学校保健統計調査」(平成22年度、24年度、26年度)  
※出現率の単位は%。四角内は全国順位。

## 成人の生活習慣病

主な生活習慣病の治療薬服用者の割合 順位(多い順) 出典：福島県「第二次健康ふくしま21計画」参照



福島県は、全国平均と比べて、生活習慣病の治療をしている人が多い傾向にあります。

これらの生活習慣病は、「健康診査」を受けることで早期に見つけることができます。ご自身の健康管理のために「健康診査」を活用してくださいね。

## 東日本大震災の影響は？

全体の傾向として、福島県民の健康状態はあまり良くないといえます。そして震災による生活習慣の変化などが影響して、ますます悪くなることが心配されているんです。

特に高齢者の要介護の割合が全国でも突出して増えていて、これは運動量が減って全身の心身機能が低下してしまう、生活不活発病の増加も原因といわれています。

高齢者の皆さんは気をつけてくださいね。

